

別記様式第八（甲の2）

登録（及び許可）申請書

年 月 日

殿

申請者 住 所

ふりがな
氏 名

別紙のとおり河川法第23条の2の登録（及び第 条の許可）を申請します。

備考

- 1 申請者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 第39条の規定により許可の申請を同時に行うときは、「第 条」の箇所に根拠条文をすべて記載すること。

(乙の1の2)

(水利使用)

- 1 河川の名称
- 2 発電施設の名称及び位置水利
- 3 従属元水利使用の許可を受けた者等
- 3 取水口、注水口又は放水口の位置
- 4 取水量等
- 5 水利使用の期間
- 7 工期
- 8 工作物及び土地の占用

名称又は種類	工作物の位置 又は占用の場所	工作物の構造 又は能力	占用の面積	摘要

9 土地の掘さく等

種類	場所	土地の面積	摘要

備考

- 1 「従属元水利使用の許可を受けた者等」については、登録に係る流水の占用に係る発電のために利用する法第23条の2に規定する流水に関する次に掲げる事項のいずれかを記載すること。
 - イ 法第23条の許可を受けた者の氏名及び住所（法人にあっては、その名称及び住所並びに代表者の氏名）
 - ロ 令第14条の2に規定する流水が放流されるダム又は堰の位置及び名称
- 2 「取水量等」の記載については、次のとおりとすること。
 - (1) 取水量及び使用水量の単位は、立方メートル毎秒とすること。
 - (2) 最大取水量及び常時取水量のほか、総落差及び有効落差並びに最大理論水力及び常時理論水力を記載し、かつ、最大出力、常時出力及び常時尖頭出力を付記すること。
 - (3) 取水量と使用水量とが異なるときは、使用水量をあわせて記載すること。
 - (4) その他水利使用の条件があるときは、これを記載すること。
- 3 「工作物及び土地の占用」の記載については、次のとおりとすること。
 - (1) 「占用面積」の欄には、河川区域内の土地（河川管理者以外の者がその権原に基づき管理する土地を除く。）の占用面積を記載すること。
 - (2) 「摘要」の欄には、新築、改築又は除却の別その他参考となるべき事項を記載すること。
- 4 「土地の掘さく等」の記載については、次のとおりとすること。
 - (1) 河川区域内の土地における土捨場の設置、土地の掘さくその他の形状を変更する行為（工作物の新築、改築又は除却のためにするものを除く。）及び竹木の栽植又は伐採について記載すること。
 - (2) 「摘要」の欄には、捨土量、掘さく土量等を記載すること。
- 5 登録及び許可を受けた事項の変更の登録又は許可の申請にあっては、変更しない事項についても記載し、かつ、変更する事項については、変更前のものを赤色で併記すること。

添付図書

一、申請者が法第 23 条の 4 第 1 号から第 3 号までに該当しないことを誓約する書面

二、次に掲げる者の同意書の写し

イ、申請者と当該申請に係る流水の占有に係る発電のために利用する流水の占有について法第 23 条の許可を受けた者とが異なるときは、当該許可を受けた者

ロ、申請者と当該申請に係る流水の占有に係る発電のために利用する令第 14 条の 2 に規定する流水が放流されるダム又は堰を設置した者とが異なるときは、当該ダム又は堰を設置した者

三、次に掲げる事項を記載した図書

イ、水利使用に係る事業の計画の概要

ロ、使用水量の算出の根拠

四、当該申請に係る流水の占有に係る発電のために利用する流水の占有に関する法第 23 条の許可に関する次に掲げる事項を記載した書面

イ、水利使用の目的

ロ、許可水量

ハ、許可期間

ニ、取水口又は注水口の位置

ホ、許可に条件が付されている場合にあつては、当該条件

五、工作物の新築、改築又は除却(以下この条及び第十五条において「新築等」という。)を伴う水利使用に関する法第二十三条の二の登録の申請にあつては、前条第二項第二号の表に掲げる図書(法第二十六条第一項の許可の申請が含まれていないときは、工事計画の概要を記載した図書)

六、河川管理者以外の者がその権原に基づき管理する土地において工作物の新築等を行う場合又は河川管理者以外の者がその権原に基づき管理する工作物について改築若しくは除却を行う場合にあつては、当該新築等を行うことについて申請者が権原を有すること又は権原を取得する見込みが十分であることを示す書面

七、工作物の新築等に係る行為又は事業に関し、他の行政庁の許可、認可その他の処分を受けることを必要とするときは、その処分を受けていることを示す書面又は受ける見込みに関する書面

八、第三十九条ただし書に該当するときは、同条ただし書の理由及び同条本文の規定により同時に行うべき他の許可の申請の経過又は予定を記載した書面

九、その他参考となるべき事項を記載した図書

※前条第二項第二号の表

区 分	図 書		備 考	
法第44条第1項のダムの新築又は改築に関する工事計画	別記様式第9による工事計画一覧表			
	計算書	計画洪水流量に関する計画書		
		ダムの安定に関する計画書		
		施設又は工作物に関する水理計算書		
		施設又は工作物に関する構造計算書		
		背水に関する計算書		
		貯水池容量計算書		
		占用面積計算書		
	付 表	降 水 量 表	日降水量、月降水量及び年降水量を記載するものとする。	
		最高最低気温表	月の最高気温及び最低気温を記載するものとする。	
		水位及び流量表		
		掘さく土石処理計 画 表		
		工 程 表		
図 面	一 般 平 面 図	<p>次の事項を記載した縮尺5万分の1の地形図とする。</p> <p>イ、集水地域</p> <p>ロ、ダム、水路、法第45条の規定による観測施設その他水利使用に関する主要な施設又は工作物の設置</p> <p>ハ、水利使用により影響を受ける施設又は工作物のうち、他の水利使用のためのもの、道路、橋その他主要なものの位置</p> <p>ニ、その他参考となるべき事項</p>		

		貯水池実測平面図	<p>次の事項を記載した縮尺 5 千分の 1 以上の地形図とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> イ、湛水区域 ロ、ダム及びこれに附属する施設又は工作物の位置 ハ、土捨場その他ダムに関する工事に附帯して設置する施設又は工作物で主要なものの位置 ニ、測点の番号及び位置 ホ、その他参考となるべき事項
		貯水池実測縦断面図	<p>次の事項を記載した縮尺縦 2 百分の 1 以上、横 5 千分の 1 以上のものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> イ、最低河床 ロ、ダムの位置 ハ、ダムの新築又は改築前における計画洪水位並びに新築又は改築後における計画洪水位、常時満水位及び最低の水位 ニ、推定堆砂図 ホ、測点の番号及び標高 ヘ、測点間の距離及び追加距離 ト、その他参考となるべき事項
		貯水池地実測横断面図	<p>次の事項を記載した縮尺 5 百分の 1 以上のものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> イ、最高の水位から 20 メートルの高さまでの地盤面 ロ、前欄ハからホまでに掲げる事項 ハ、その他参考となるべき事項
		地質に関する図面	
		ダムの設計図	ダムの基礎処理に関するものを含む。
		ダムに関する工事を施行するための設備に関する図面	
		ダム以外の施設又は工作物の設計図	
		流況曲線図	

		流量累加曲線図	
		貯水量曲線図	
		貯水面積曲線図	
		占用する土地の 丈量図	
	ダムの新築又は改築の場所を その上流側及び下流側から撮 影した写真にダムの外形を記 載したもの		
	工事費概算書		
	資金計画の概要を記載した書 面		
その他工事計画に関し参考と なるべき事項を記載した図書			
法第 44 条第 1 項のダム以外の 工作物の新築又 は改築に関する 工事計画	計算書	工作物に関する水理 計算書	ダム又は堰以外の工作物については、作 成することを要しない。
		工作物に関する構造 計算書	
		計画洪水流量及び背 水に関する計算書	
		占用面積計算書	
	付 表	水位及び流量表	
		工程表	
	図 面	位置図	縮尺 5 万分の 1 の地形図とする。
		実測平面図	
		実測縦断面図	ダム又は堰以外の工作物については、作 成することを要しない。
		実測横断面図	
		工作物の設計図	
	占用する土地の丈量 図		
	工事費概算書		
	その他工事計画に関し参考と なるべき事項を記載した図		
工作物の除却に	図 面	位置図	縮尺 5 万分の 1 の地形図とする。

関する工事計画		工作物の構造図	
	工事の実施方法を記載した図書		
	工事費概算書		
	その他工事計画に関し参考となるべき事項を記載した図書		

別記様式第8の1の2

誓約書

登録申請者及びその役員は、河川法第23条の4第1号から第3号までに該当しない者であることを誓約します。

年 月 日

申請者 氏名 _____

静岡県知事 様

別記様式第9

工 事 計 画 一 覧 表

申請者名			申請年月日	年 月 日				
ダム名	()		目 的					
共同施設の他の設置者に関する事項	目 的	設 置 者 名		摘 要				
水利使用の場所	区 分	河 川		位 置				
		名 称	種 類					
	ダ ム			左岸 右岸				
	取 水 口							
	注 水 口							
放 水 口								
取水量等								
ダム本体	型 式							
	規 模	堤頂の高さ	越流頂の高さ	堤頂の長さ	堤 頂 幅	敷 幅	の り 配	体 積
		m	m	m	m	m	上流側 下流側	m ³
	基礎地盤							
	築造材料							
	位置及び形式の決定の理由							
貯水効率								

貯	水位	計画洪水位	m		湛水区域の面積	k m ²
		常時満水位			貯留量	総貯留量 有効貯留量
	制限水位					
	最低の水位 (ダムの堤頂) (ダムの基礎地盤)					
水	利用方法の基準					
	背水距離	河川		洪水時	平水時	
		名称	種類			
		計				
池	土地の現況					
	地質					
	山くずれ その他 荒廢の状況					
集水地域	面積	直接集水面積 間接集水面積 計	k m ²			
	土地の現況					
	山くずれ その他 荒廢の状況					
降水量	関係河川名					
	観測所名					
	観測期間					
	日降水量	最大	m	m		m
		最小				
		平均				
	月降水量	最大	m	m		m
		最小				
		平均				
	年降	最大	m	m		m
最小						

工事の実施の方法及び順序				
工 期		着工予定 完成予定		工事費 概算額
調査設計主任技術者	氏 名			
	経 歴			

備考

- 1 「ダム名」の欄のかつこ内には、貯水池の名称を記載すること。
- 2 「共同施設の他の設置者に関する事項」の欄は、当該ダムを他の者と共同して設置する場合に限り記載するものとし、同欄中「摘要」の欄の記載については、別記様式第二の水利台帳調書（乙）の備考5の例によること。
- 3 「水利使用の場所」及び「貯水池」の欄中「河川の種類」の欄には、別記様式第二の水利台帳調書（甲）の備考5(3)の例により河川の種類を記載すること。
- 4 「取水量等」の欄の記載については、別記様式第八の（乙の1）の備考2（(7)を除く。）の例によること。
- 5 「ダム本体」の欄の記載については、次のとおりとすること。
 - (1) 「基礎地盤」の欄には、ダムの基礎地盤の岩石の種類及び性質、断層及び割れ目の状態、わき水及び漏水の状態等を記載すること。
 - (2) 「貯水効率」の欄には、有効貯留量をダムの堤頂及び基礎地盤の標高を記載すること。
- 6 「貯水池」の欄中「水位」の欄のかつこ内には、ダムの堤頂及び基礎地盤の標高を記載すること。
- 7 「附属設備」の欄の記載については、別記様式第二の水利台帳調書（乙）の備考8の例によること。
- 8 「附属設備」の欄には、付替道路の種類及び箇所数、付替橋の数、土捨場の数その他ダムに関する工事に附帯して設置する主要な施設又は工作物の種類、数等を記載すること。
- 9 「工事費概算額」の欄には、当該ダムその他の施設を他の者と共同して設置するときは、当該共同施設の工事費概算額のうち各設置者がそれぞれ負担すべき額及び申請者の占用施設の工事費概算額を記載すること。